

山形大学小白川図書館上映会

REVISION

1992年／ドイツとポーランドの国境／風に揺れるトウモロコシ畑と二つの死体



ミステリー × ドキュメンタリー

リヴィジョン / 検証

2016.01.29 (FRI) 17:00～

会場：図書館1Fシアタールーム

入場無料

主催：山形国際ドキュメンタリー映画祭 / 山形大学小白川図書館 / 山形大学人文学部映像文化研究所



ドキュメンタリー映画『リヴィジョン／検証』

ドイツ／2012／ドイツ語、ルーマニア語／カラー／106分

ストーリー：

1992年、ドイツとポーランド国境のトゥモロコシ畑で、ルーマニアからやってきた二人のロマ人の不法移民の死体が発見される。2012年、監督のフィリップ・シェフナーはドイツ当局から「ハンターによる誤射」で片づけられたこの事件について、関係者の証言と独自の調査結果、風景や資料をパズルのように組み合わせ、「映画の検証」を施していく。スリリングな試みのなかから、この地に根ざした暴力と差別の歴史が浮かび上がり、事件の意外な側面が見えてくる。



フィリップ・シェフナー

1966年5月28日、ドイツ・ザールラント州ホンブルク生まれ。1986年からベルリンを拠点にドキュメンタリー映画、ビデオ、サウンドアート等の分野で活動。メルレ・クレーガと共に製作プラットフォーム「pong」を運営している。映像作品に『a/c』（1992-2000）、『India in Mind』（2003）、『The Halfmoon Files』（2007）、『Day of the Sparrow』（2010）などがある。

※上映後、作品解説があります

人文学部山崎彰教授による作品解説を予定しています。